

日立エントリーブレードサーバ  
**HA8000-bd** シリーズ

**HITACHI**  
Inspire the Next

# iSCSI 設定ガイド

## **HA8000-bd/BD10X1**

マニュアルはよく読み、保管してください。  
製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。  
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

2011年2月（初版）

## 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。  
なお、保証と責任については保証書裏面の「保証規定」をお読みください。

## 登録商標・商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

そのほか、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

© Hitachi, Ltd. 2011. All rights reserved.

---

# CHAP 認証に関するライセンス

Copyright© 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)  
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young  
(eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as  
the following conditions are adhered to. The following conditions  
apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,  
Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation  
included with this distribution is covered by the same copyright terms  
except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in  
the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution  
as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a  
textual message at program startup or in documentation (online or textual)  
provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list  
of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,  
this list of conditions and the following disclaimer in the documentation  
and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software  
must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young  
(eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library  
being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from  
the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

---

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

---

Copyright© 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

---

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

# はじめに

このたびは日立のブレードサーバ HA8000-bd（以下 システム装置）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルは、サーバブレード BD10（以下 サーバブレード）で iSCSI ブートを使用する場合の BIOS 設定項目と Windows のインストール方法、および制限事項について記載しています。

## マニュアルの表記

### □ マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

|   |   |
|---|---|
| <b>通知</b>   | これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。   |
|  <b>制限</b>   | システム装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。 |
|  <b>補足</b> | システム装置を活用するためのアドバイスを示します。               |

### □ システム装置の表記について

このマニュアルでは、ブレードサーバ HA8000-bd をシステム装置と表記します。なお、システム装置を装置と略して表記することがあります。

また、サーバブレード BD10 をサーバブレードと表記します。サーバブレードを区別する場合にはモデル名称の BD10X1 と表記します。

### □ 関連マニュアル

ユーザーズガイド：システム装置の取り扱いに関する内容を記載しています。

ご使用になる前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

# お問い合わせ先

ここでは、iSCSI ブート ご使用時のお問い合わせ先および参考先をご案内しています。

## 最新情報・Q&A・ダウンロードは

「HA8000-bd ホームページ」で、技術情報や注意事項などの最新情報を提供しています。  
「HA8000-bd ホームページ」の「製品」タブをクリックしてください。

- ホームページアドレス  
<http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd/>

### ハードウェア

技術情報を提供しています。必要に応じてご利用ください。

### ソフトウェア

管理ソフトウェアやOSに関連する情報を提供しています。必要に応じてご利用ください。

### 注意事項

HA8000-bd シリーズをお使いいただく上での注意事項を掲載しています。  
お使いになる前にご確認ください。

# 安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するため用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

## 通知

これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



### 【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



### 【表記例 2】分解禁止

○の図記号は行ってはいけないことを示し、○の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

なお、○の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



### 【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

なお、●は一般的に行っていただきたい事項を示します。

## 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- お使いになる前にシステム装置の『ユーザーズガイド』を参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

## 自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

---

---

## 本マニュアル内の警告表示

### ⚠ 警告

---

本マニュアル内にはありません。

### ⚠ 注意

---

本マニュアル内にはありません。

### 通知

---

#### 電源を切るときについて

電源スイッチは4秒以上押さないでください。サーバ  
ブレードが強制終了されます。この場合、データが壊  
れたり、OSが起動しなくなる場合があります。  
シャットダウンを行って電源を切ってください。

『関連ページ』 → P.2

# 目次

|  |             |
|--|-------------|
| 重要なお知らせ .....  | iii         |
| 登録商標・商標について .....  | iii         |
| 版権について .....   | iii         |
| CHAP 認証に関するライセンス .....                                   | iv          |
| <b>はじめに .....</b>  | <b>vii</b>  |
| マニュアルの表記 .....   | vii         |
| <b>お問い合わせ先 .....</b>                                     | <b>viii</b> |
| 最新情報・Q&A・ダウンロードは .....                                   | viii        |
| <b>安全にお使いいただくために .....</b>                               | <b>ix</b>   |
| 本マニュアル内の警告表示 .....                                       | x           |
| <b>目次 .....</b>  | <b>xi</b>   |
| <b>1 iSCSI ブートの設定 .....</b>                              | <b>1</b>    |
| 電源を入れる・切る .....  | 2           |
| iSCSI ブートを設定する .....                                     | 3           |
| セットアップメニューの起動・終了 .....                                   | 3           |
| セットアップメニューの構成 .....                                      | 4           |
| セットアップメニューの設定項目 .....                                    | 5           |
| <b>2 Windows のインストール .....</b>                           | <b>11</b>   |
| 前提条件の確認 .....  | 12          |
| 前提条件 .....   | 12          |
| Windows のインストール方法 .....                                  | 13          |
| iSCSI ブート環境で異なる手順 .....                                  | 13          |
| LAN ドライバの読み込み .....                                      | 14          |
| ソフトウェアインシエータサービスの開始と設定 .....                             | 18          |
| Intel(R) PROSet ユーティリティのインストールとクラッシュダンプ<br>ドライバの設定 ..... | 21          |
| <b>3 制限事項 .....</b>                                      | <b>25</b>   |
| iSCSI ブート使用上の制限事項 .....                                  | 26          |
| iSCSI 使用上の制限 .....                                       | 26          |
| 「コンピュータを修復する」／「システム回復オプション」画面について .....                  | 28          |

– MEMO –

# 1

## iSCSI ブートの設定

---

この章では、iSCSI ブートのための設定について説明します。

|                      |   |
|----------------------|---|
| 電源を入れる・切る .....      | 2 |
| iSCSI ブートを設定する ..... | 3 |

# 電源を入れる・切る

サーバーブレードの電源の操作については『ユーザーズガイド』「電源を入れる・切る」をご参照ください。

## 通知

電源スイッチは4秒以上押さないでください。サーバーブレードが強制終了されます。この場合、データが壊れたり、Windowsが起動しなくなる場合があります。

シャットダウンを行って電源を切ってください。

# iSCSI ブートを設定する

ここでは iSCSI ブートのためのセットアップメニュー (iSCSI BIOS Setup Utility) の設定方法を説明します。

## セットアップメニューの起動・終了

### □ 起動方法

セットアップメニューは次の方法で起動します。

- 1 サーバブレードの電源を入れます。
  - 2 サーバブレード起動中、画面に「Press <Ctrl-D> to run setup」と表示されたら、[Ctrl] キーを押しながら [D] キーを押します。
- iSCSI BIOS Setup Utility が起動します。

### □ 終了方法

セットアップメニューは次の方法で終了します。

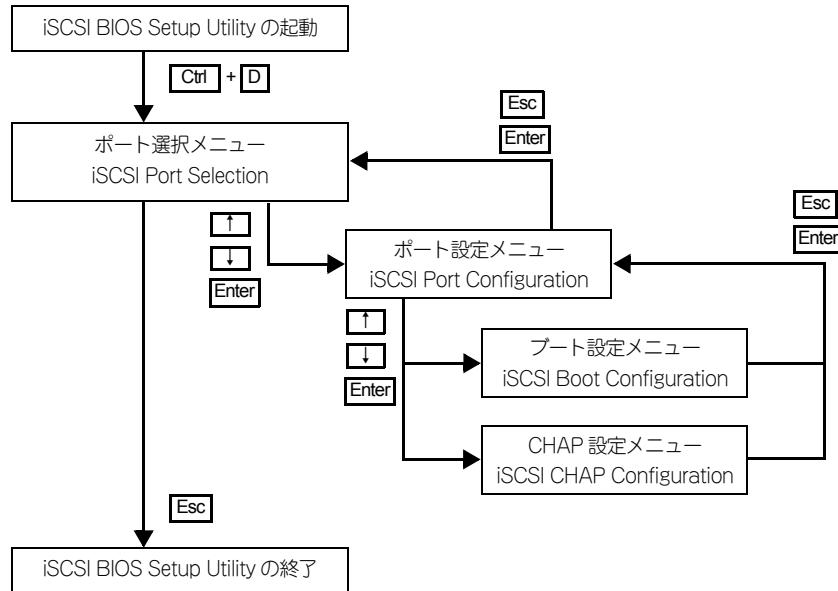
- 1 iSCSI Port Selection の画面に戻り、[ESC] キーを押します。

…  
補足

- iSCSI BIOS Setup Utility で設定する値は、iSCSI ブートに使用するストレージ装置側の設定にあわせる必要があります。
- iSCSI ブート機能を使用するには、あらかじめ BIOS セットアップメニューにて、iSCSI ブートを有効にしておく必要があります。『ユーザーズガイド』の「5 BIOS の設定」をご参照ください。

## セットアップメニューの構成

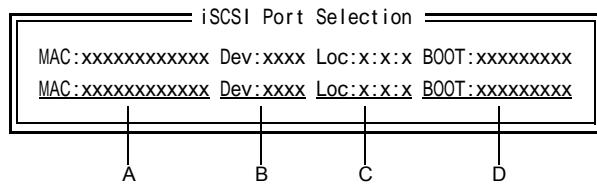
セットアップメニューは、次のように構成されます。



# セットアップメニューの設定項目

ここでは、セットアップメニューの設定項目と設定値について説明します。

## □ ポート選択メニュー



この画面では、次のキー操作で設定を行います。

| キー      | 働き                                |
|---------|-----------------------------------|
| [P]     | プライマリのブート用ポートとして設定します。            |
| [S]     | セカンダリのブート用ポートとして設定します。            |
| [D]     | 無効の iSCSI ポートとして設定します。            |
| [Enter] | ポート設定メニューを表示します。→ 「ポート設定メニュー」 P.6 |
| [Esc]   | iSCSI BIOS Setup Utility を終了します。  |

### A MAC アドレス

LAN の MAC アドレスを表示します。



上段が LAN2、下段が LAN1 の MAC アドレスを表します。

### B PCI デバイス ID

PCI デバイスの ID を表示します。

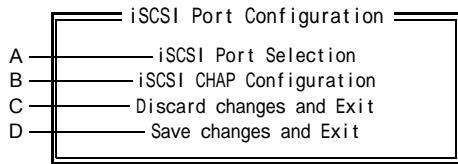
### C PCI バス番号：デバイス番号：ファンクション番号

PCI バス番号、デバイス番号、ファンクション番号を表示します。

### D iSCSI ブート設定

iSCSI ブート設定を表示します。

## □ ポート設定メニュー



### A iSCSI Port Selection

ポート設定メニューを表示します。→「[ポート設定メニュー](#)」 P.7

### B iSCSI CHAP Configuration

CHAP 設定メニューを表示します。→「[CHAP 設定メニュー](#)」 P.9

このメニューは使用しません。

### C Discard changes and Exit

ポート設定メニューと CHAP 設定メニューで行った変更を破棄し、ポート選択メニューに戻ります。→「[ポート選択メニュー](#)」 P.5

### D Save changes and Exit

ポート設定メニューと CHAP 設定メニューで行った変更を保存し、ポート選択メニューに戻ります。→「[ポート選択メニュー](#)」 P.5

## □ ブート設定メニュー

| iSCSI Boot Configuration |  |
|--------------------------|--|
| A                        | <input type="checkbox"/> Use dynamic IP configuration (DHCP)   |
| B                        | Initiator Name: _____  |
| C                        | Initiator IP: _____  |
| D                        | Subnet Mask: _____   |
| E                        | Gateway: _____   |
| F                        | VLAN ID: _____   |
| G                        | <input type="checkbox"/> Use DHCP for iSCSI Target information |
| H                        | Target Name: _____   |
| I                        | Target IP: _____   |
| J                        | Target Port: _____   |
| K                        | Boot LUN: _____  |
| L                        | [OK] [Cancel]  |

**A Use dynamic IP configuration (DHCP)**

使用しません。

**B Initiator Name**

iSCSI initiator name を設定します。

ここで入力する値は、LAN1 と LAN2 で共通です。

**C Initiator IP**

このポートで使用するIP アドレスを設定します。

**D Subnet Mask**

このポートで使用するネットワークマスクを設定します。

**E Gateway**

ゲートウェイのIP アドレスを設定します。

ポートに設定したIP アドレスとは異なるネットワークにiSCSIストレージ装置がある場合に設定が必要です。

**F VLAN ID**

使用しません。

**G Use DHCP for iSCSI Target information**

使用しません。

---

**H Target Name**

ストレージ装置の iSCSI target name を設定します。

**I Target IP**

ストレージ装置の IP アドレスを設定します。

**J Target Port**

ストレージ装置の TCP ポート番号を設定します。

**K Boot LUN**

ストレージ装置のブートディスクの LUN ID を設定します。

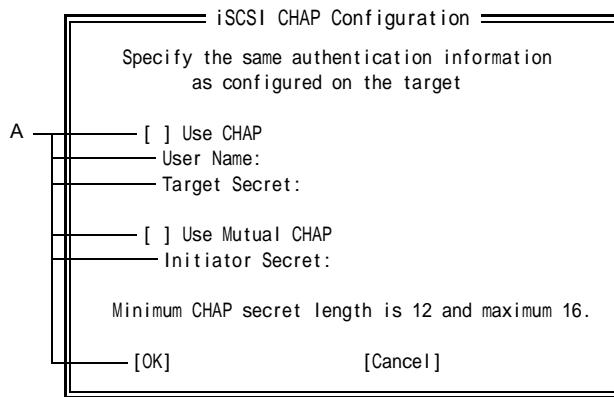
**L OK/Cancel**

ポート設定メニューに戻ります。→ 「[ポート設定メニュー](#)」 P.6

「OK」を選択すると、変更内容を一時的に記憶します。

「Cancel」を選択すると、変更内容を破棄します。

## □ CHAP 設定メニュー



### A Use CHAP ~ OK/Cancel

使用しません。

— MEMO —

# 2

## Windows のインストール

---

この章では、iSCSI ブート環境に Windows をインストールする方法について説明します。

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 前提条件の確認 .....           | 12 |
| Windows のインストール方法 ..... | 13 |

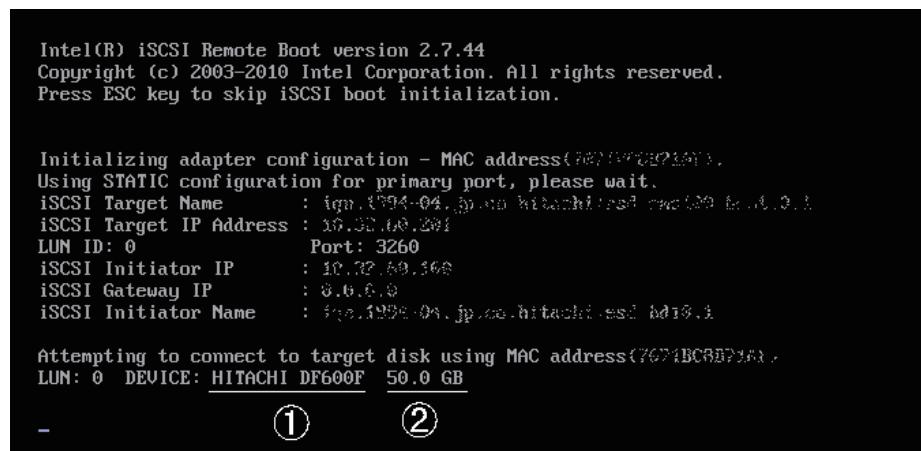
# 前提条件の確認

ここでは、iSCSI ブート環境に Windows をインストールする前提条件について説明します。

## 前提条件

iSCSI ブート環境に Windows をインストールする場合、起動時の “Intel (R) iSCSI Remote Boot” の画面において、デバイスとして指定した iSCSI ターゲット（ストレージ装置）に接続しているロジカルユニット（Logical Unit、以下 LU）が認識されている必要があります。

認識されていない場合は、ストレージ装置やセットアップメニュー（iSCSI BIOS Setup Utility）の設定値を再確認してください。→ 「[iSCSI ブートを設定する](#)」P.3



①：iSCSI ターゲットに接続された LU（ご使用の装置により異なります）

②：接続された LU の容量

# Windows のインストール方法

ここでは、iSCSI ブート環境における通常のインストール手順との差異について説明します。

通常の OS インストールにつきましては、「HA8000-bd ホームページ」に掲載されている『ソフトウェアガイド』をご参照ください。

- ホームページアドレス

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd/>

## iSCSI ブート環境で異なる手順

iSCSI ブート環境におけるインストールと通常のインストールで異なる手順は次のとおりです。

- LAN ドライバの読み込み

インストール中に、ストレージドライバとして、LAN ドライバを読み込む手順です。

- ソフトウェアイニシエータサービスの開始と設定

iSCSI の各種調停を行うソフトウェアイニシエータサービスの開始と設定の確認を行います。

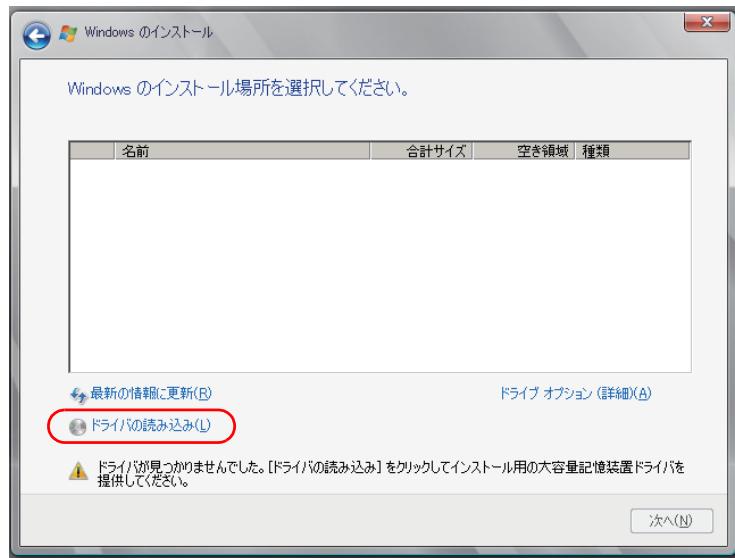
- Intel(R) PROSet ユーティリティのインストールとクラッシュダンプドライバの設定

クラッシュダンプファイル作成の前提となる、PROSet ユーティリティのインストールと、クラッシュダンプドライバの設定を行います。

次に各手順を説明します。

## LAN ドライバの読み込み

- 1 [Windows のインストール場所を選択してください] 画面で [ドライバの読み込み] をクリックします。

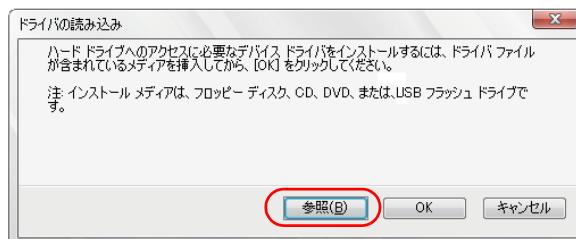


[ドライバの読み込み] 画面が表示されます。



Windows Server 2008 R2 では、標準ドライバでディスクを認識できますが、使用しないでください。次の手順にしたがい別途提供しているドライバをインストールしてください。

- 2 DVD-ROM ドライブから『セットアップ DVD』を取り出し、『HA8000-bd/BD10 Drivers CD』に入れ替え、[参照] ボタンをクリックします。

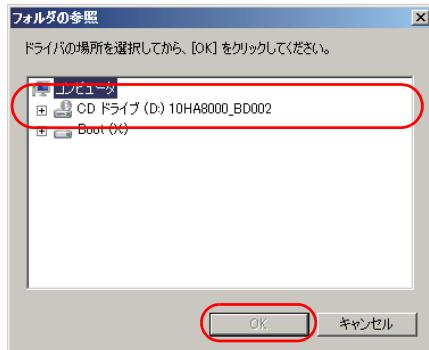


[フォルダの参照] 画面が表示されます。

**3 次の場所を選択し [OK] ボタンをクリックします。**

- ◆ Windows Server 2008 32bit 版の場合：  
d:\¥Drivers¥LAN¥Common¥PRO1000¥Win32¥NDIS61
- ◆ Windows Server 2008 R2 の場合：  
d:\¥Drivers¥LAN¥Common¥PRO1000¥Winx64¥NDIS62

\*d: は DVD-ROM ドライブ名です。

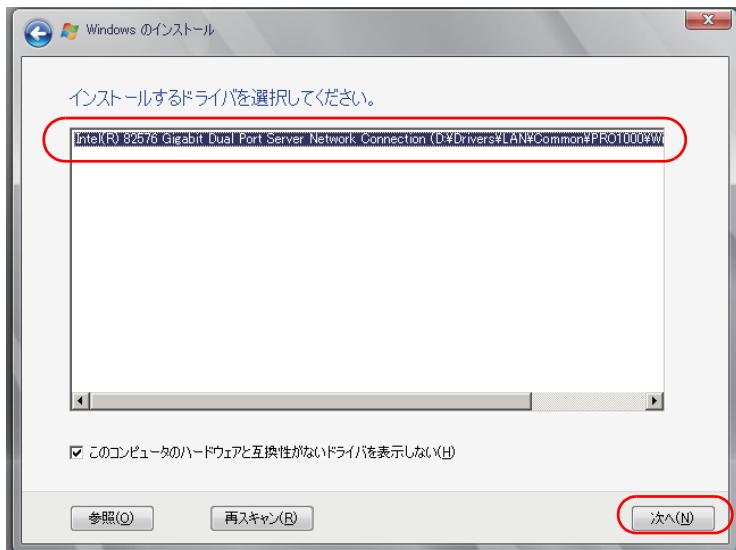


[インストールするドライバを選択してください] 画面が表示されます。

**4 次のドライバを選択し [次へ] ボタンをクリックします。**

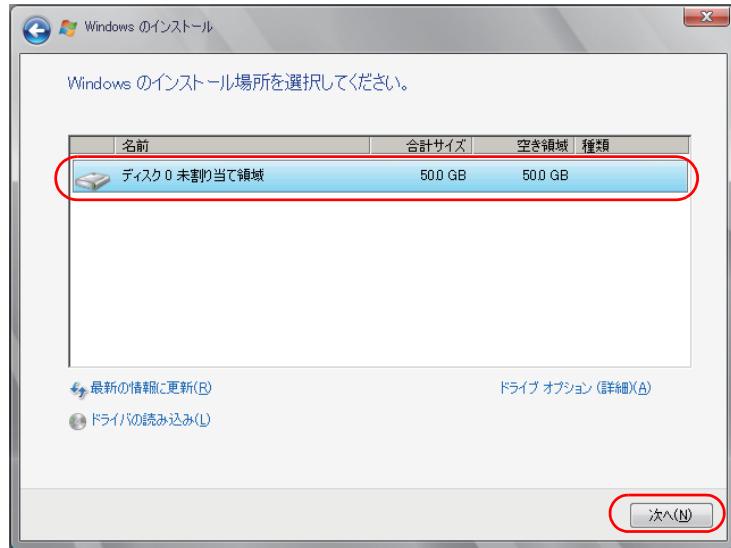
- ◆ Windows Server 2008 32bit 版の場合：  
"Intel(R) 82576 Gigabit Dual port Server Network Connection  
(d:\¥Drivers¥LAN¥Common¥PRO1000¥Win32¥e1q6032.INF) "
- ◆ Windows Server 2008 R2 の場合：  
"Intel(R) 82576 Gigabit Dual port Server Network Connection  
(d:\¥Drivers¥LAN¥Common¥PRO1000¥Winx64¥NDIS62¥e1q62x64.inf) "

\*d: は DVD-ROM ドライブ名です。



[Windows のインストール場所を選択してください] 画面が表示されます。

- 5 DVD-ROM ドライブから『HA8000-bd/BD10 Drivers CD』を取り出し、『セットアップ DVD』に入れ替えます。
- 6 画面にしたがってインストールするパーティションを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

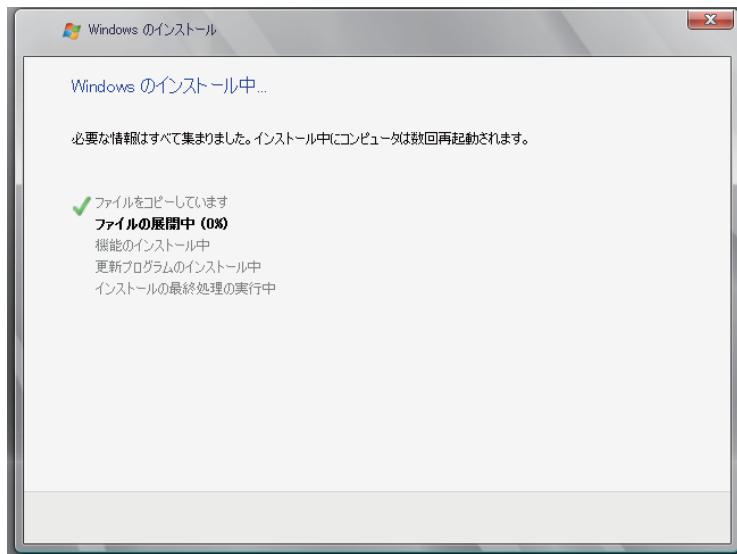


[Windows のインストール中] 画面が表示されます。



- ダイナミックディスクはサポートしておりません。誤ってダイナミックディスクを作成してしまった場合、ダイナミックディスク内のパーティションに対し [削除] ボタンは使用できません。詳細や対処方法については、次をご参照ください。  
<http://support.microsoft.com/kb/926190>
- [ドライブオプション] を使用しパーティションを作成する場合、パーティション容量が小さいとインストールに失敗する場合があります。そのため、40GB 以上のパーティションを作成してインストールすることを強くお勧めします。
- インストールするパーティションは、ディスク 0 を選択してください。ディスク 0 以外では正常にインストールできません。

- 7 以降、通常のインストール手順と同様にインストールを行います。

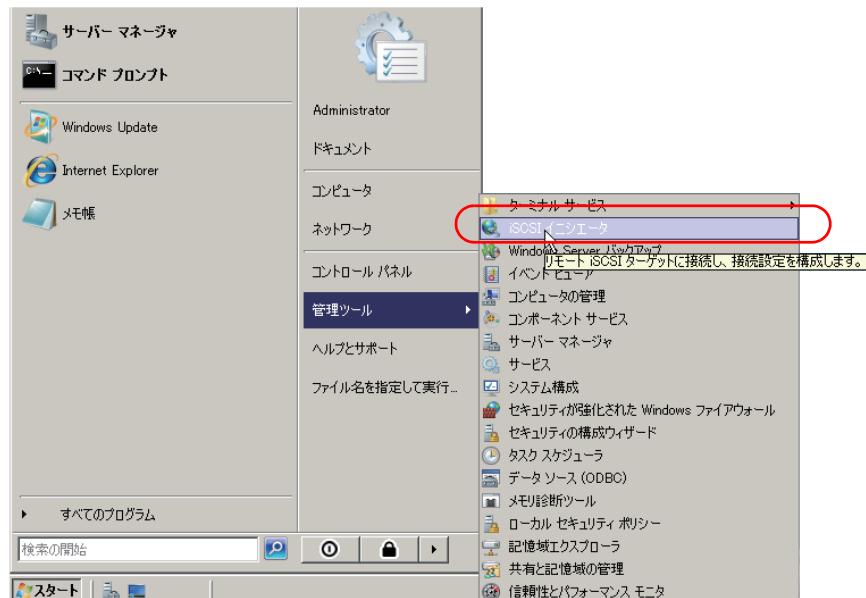


## ソフトウェアイニシエータサービスの開始と設定

補足

「Administrator」でログインしている必要があります。

- [スタート]ボタンをクリックし、プルアップメニューから[管理ツール]を選びます。管理ツールの一覧から[iSCSIイニシエータ]を選択し、クリックします。



- 初めて起動した場合、サービスの自動実行のダイアログが表示されるので [はい] ボタンをクリックします。



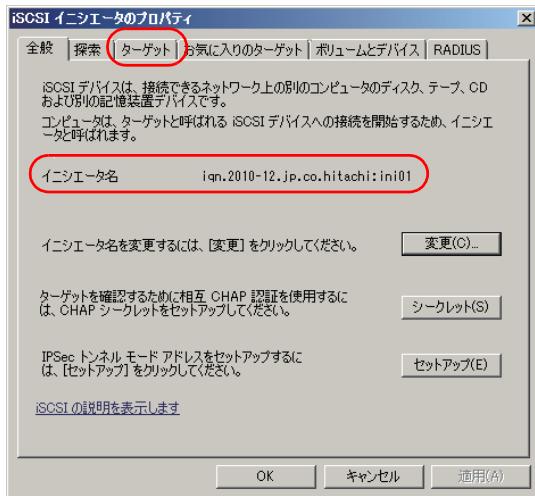
WindowsServer 2008 32bit の場合、ファイアウォールの除外ダイアログが表示されます。手順 3 へ進みます。

Windows Server 2008 R2 の場合、手順 4 へ進みます。

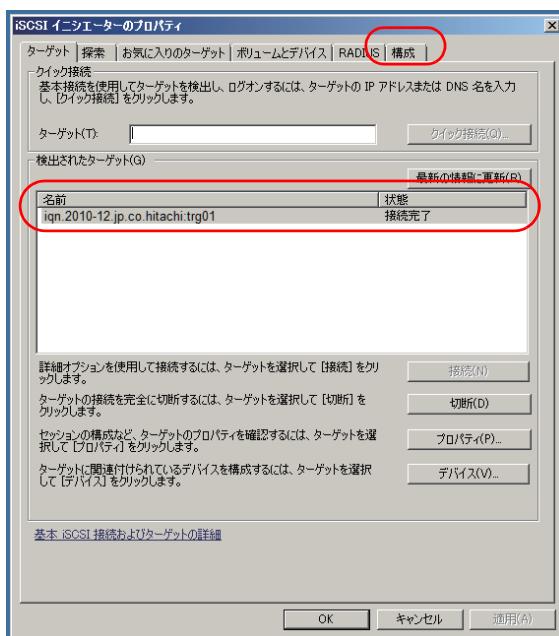
- ご使用の環境に合わせて [はい] ボタンまたは [いいえ] ボタンをクリックします。インターネット記憶域サービス (Internet Storage Name Service(iSNS)) を使用しない場合、[いいえ] を選択してください。



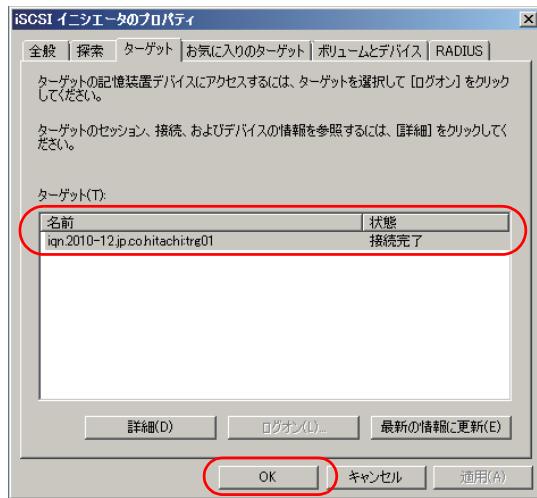
- 4 Windows Server 2008 32bit の場合、[iSCSI イニシエータのプロパティ] 画面が表示されます。  
 「全般」タブでイニシエータ名が正しいことを確認し、「ターゲット」タブをクリックします。



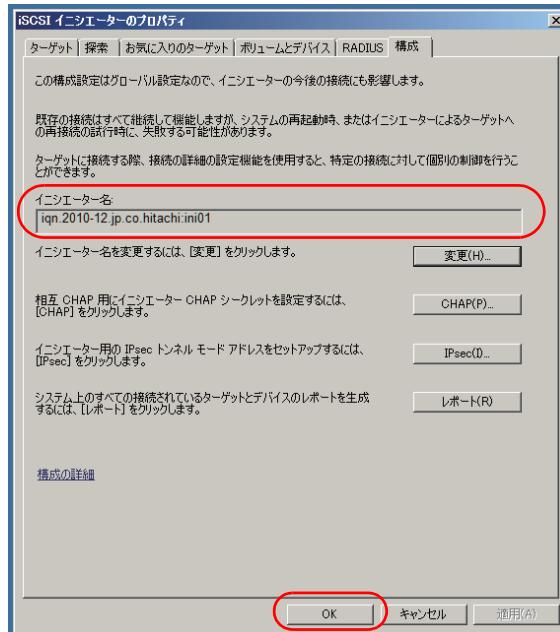
Windows Server 2008 R2 の場合、[iSCSI イニシエーターのプロパティ] 画面が表示されます。  
 「ターゲット」タブでターゲット名が正しいことと、状態が「接続完了」と表示されていることを確認し、「構成」タブをクリックします。



- 5 Windows Server 2008 32bit の場合、「ターゲット」タブでターゲット名が正しいことと、状態が「接続完了」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



Windows Server 2008 R2 の場合、「構成」タブでイニシエータ名が正しいことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



## Intel(R) PROSet ユーティリティのインストールとクラッシュダンプドライバの設定

- 1 DVD-ROM ドライブに『HA8000-bd/BD10 Drivers CD』を挿入し、次のプログラムを実行します。

d:\¥Drivers¥LAN¥Common¥Autorun.exe

\*d: は DVD-ROM ドライブ名です。



[インテル (R) ネットワーク コネクション] 画面が表示されます。

- 2 [ドライバとソフトウェアのインストール] ボタンをクリックします。

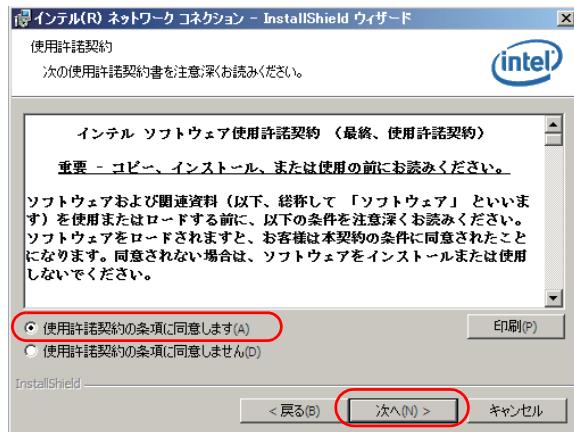


[インテル (R) ネットワーク コネクション installShield ウィザード] 画面が表示されます。

- 3 [次へ] ボタンをクリックします。

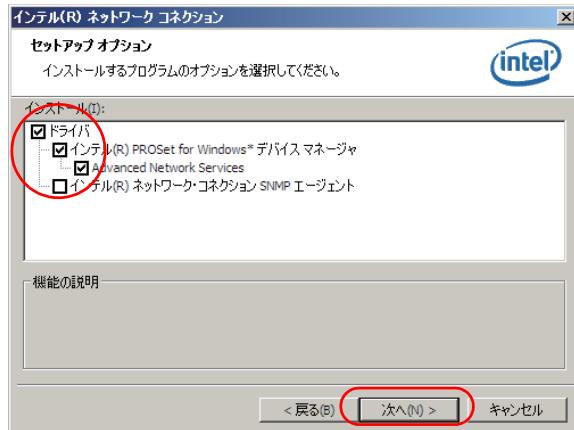
[使用許諾契約] 画面が表示されます。

- 4 「使用許諾契約書」を参照し、「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



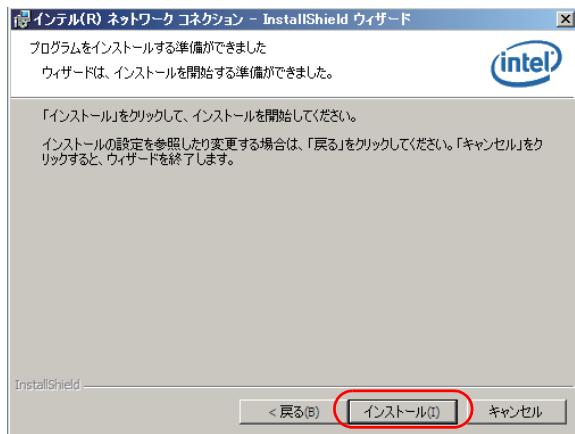
[セットアップオプション] 画面が表示されます。

- 5 次の項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
- ドライバ
  - インテル (R) PROSet for Windows デバイスマネージャ
  - Advanced Network Services



[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

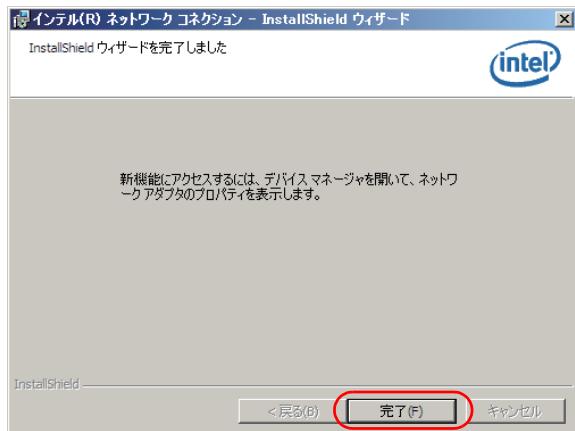
**6 [インストール] ボタンをクリックします。**



インストールが開始されます。

インストール完了後 [InstallShield ウィザードを完了しました] 画面が表示されます。

**7 [完了] ボタンをクリックします。**



Windows Server 2008 R2 の場合、手順 9 へ進みます。

**8 Windows Server 2008 32bit の場合、[スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックし、次のバッチファイルを実行します。**

d:\¥Tools¥SNPDS¥WS08¥SNPDSW08.bat

\*d: は DVD-ROM ドライブ名です。

**9 次の URL より「DISK タイムアウト時間設定ツール」をダウンロードし、適用します。**

URL : <http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd>

ツールの適用方法はなどについては URL をご参照ください。

DISK のタイムアウト時間が設定されます。

**10** 次のURLより「iSCSI クラッシュダンプ設定ツール」をダウンロードし、適用します。

URL : <http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd>

ツールの適用方法はなどについては URL をご参照ください。

クラッシュダンプドライバが設定されます。



iSCSI 用クラッシュダンプドライバの設定を行わないと、OS でクラッシュダンプの設定を行っても、クラッシュダンプファイルは作成されません。

**11** DVD-ROM ドライブから『HA8000-bd/BD10 Drivers CD』を取り出したあと、サーバブレードを再起動します。

# 3

## 制限事項

---

iSCSI ブート 使用上の制限事項 ..... 26

# iSCSI ブート使用上の制限事項

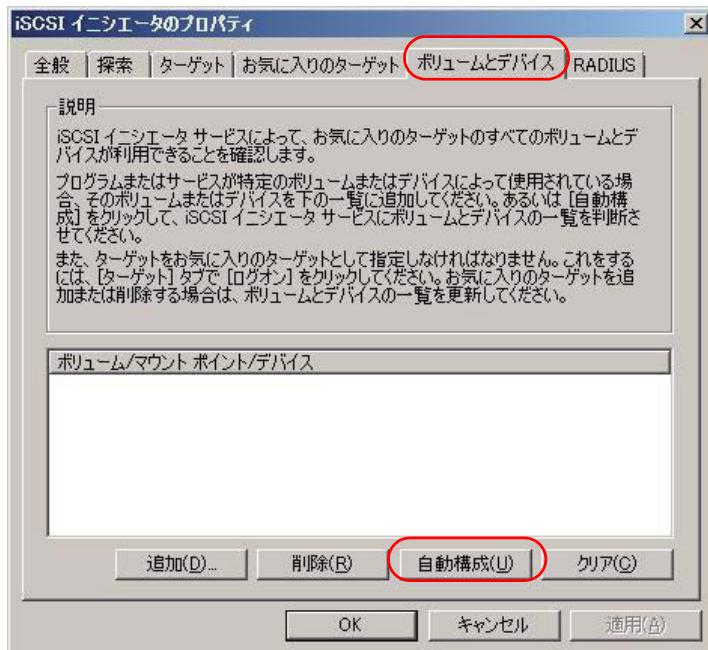
ここではサーバーブレードでiSCSI ブートを使用する場合の制限事項を説明します。

ご使用の前にお読みください。

## iSCSI 使用上の制限

- iSCSI ターゲット内のセキュリティ管理において、1台のiSCSI イニシエータからは1LU のみアクセスできるよう、iSCSI ターゲット内の設定でアクセス制限をしてください。エントリークラスディスクアレイ装置 BR1600S (iSCSI インタフェースモデル) をご使用の場合は、LUN Manager でアクセス制限をしてください。
- 業務 LAN のトラフィックの影響を避けるため、iSCSI ブート用 LAN と業務 LAN は分けてください。
- iSCSI ターゲットに OS をインストールしたあとに iSCSI イニシエータの LAN1 / LAN2 の切り替えはできません。切り替えをする場合は OS の再インストールが必要です。
- 経由する LAN スイッチの品質リスクを回避し、性能の劣化を防ぐため、ベースユニット 内蔵の LAN スイッチモジュールとストレージ装置は直接接続してください。外付けの LAN スイッチを介してベースユニット内蔵の LAN スイッチモジュールとストレージ装置を接続しないでください。
- iSCSI ターゲット内の 1 つの LUN を複数のイニシエータで共有することはできません。データ破壊を引き起こすおそれがあります。
- iSCSI ターゲットに OS が正しくインストールできない場合、iSCSI イニシエータと iSCSI ターゲットが正しく設定されているか確認してください。  
インストール中の停電や誤った設定などで正しくインストールできなかった場合、iSCSI ターゲット側の管理ソフトウェアで iSCSI ターゲットの該当 LU をフォーマットしたあと、再度インストールを行ってください。
- 次の機能はサポートしていません。
  - ◆ マルチパス IO (MPIO)
  - ◆ チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP)
  - ◆ IPv6
  - ◆ DHCP
  - ◆ Tag VLAN
- HDD の IO 付加を分散するため、次のとおり設定することを推奨します。
  - ◆ システム LU とデータ LU を別の RAID グループとする
  - ◆ 1 つの RAID グループあたり 3 システム LU 以下とする
- iSCSI ブートに使用している内蔵 LAN スイッチモジュールの交換や再起動、ファームウェア の更新は、iSCSI イニシエータをシャットダウンしたあとに行ってください。
- iSCSI ブートに使用している LAN ポートは、無効に設定したりドライバを削除したりしないでください。

- ネットワーク切断によるデータ消失の原因となりますので、iSCSI イニシエータ動作中は、iSCSI ブートで使用している内蔵 LAN スイッチモジュール、LAN ケーブル、iSCSI ターゲットの接続および設定を変更しないでください。
- ダイナミックディスクボリュームはサポートしていません。  
システム起動時、ダイナミックディスクボリュームが有効にならないことがあります。
- iSCSI 接続の NIC Teaming はサポートしていません。
- セーフモードで起動する場合は、「セーフモードとネットワーク」を選択してください。  
iSCSI 環境ではネットワークが動作することが前提となります。
- データパスの HDD にネットワーク共有を作成する場合は、iSCSI イニシエータを起動して [ボリュームとデバイス] タブを選択したあと、[自動構成] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックしてください。



補足

ネットワーク共有作成後は、起動時、[自動構成] ボタンをクリックしたあとに表示されたドライブまたはデバイスが有効になるまでの時間がかかりますので、その分起動時間が長くなります。

## 「コンピュータを修復する」／「システム回復オプション」画面について

- 1 インストール時と同様、LAN ドライバを読み込む必要があります。  
インストール時の手順を参考に、ドライバを読み込んでください。
- 2 ディスクにアクセスするために、ネットワークサービスを起動する必要があります。
  - ① 回復ツールの選択画面で、コマンドプロンプトを選択します。
  - ② Wpeinit.exe を実行して、しばらく待ちます。
  - ドライブレターは、新規に認識された順番に割り当てられるため、正常起動時と一致しない場合があります。  
DISKPARTなどを実行して、ボリュームに割り当てられているドライブレターをご確認ください。
  - クライアント形式の「システム回復オプション」が表示されますが、サポートされるのはサーバで表示されるオプションのみです。
  - 起動時の「ドライバーの読み込み」が表示されている画面で、「以前作成したシステムイメージ～」（デフォルト）を選択した場合、内部エラーとなります。
  - 回復ツールの選択画面で、ネットワークサービスを起動する前に「システムイメージの回復」を選択した場合、内部エラーとなります。

# 索引

5

## ■ C

- CHAP 9
- CHAP 認証ライセンス iv

## ■ D

- DHCP 7

## ■ I

- iSCSI ブート設定 3
- CHAP 設定 9
- ブート設定 7
- ポート設定 6
- ポート選択 5

## ■ V

- VLAN 7

## ■ W

- Windows インストール
- Intel PROSet 21
- LAN ドライバ 14
- クラッシュダンプドライバ 21
- 前提条件 12
- ソフトウェアイニシエータサービス 18

## ■ あ

- 安全にお使いいただくために ix

## ■ し

- 重要なお知らせ iii
- 商標 iii

## ■ ゼ

- 制限事項 26

## ■ て

- 電源を入れる・切る 2

## ■ は

- 版権 iii

## ■ ま

- マニュアルの表記
- 関連マニュアル vii
- システム装置 vii
- マーク vii

---

日立エンタープライズサーバ HA8000-bd シリーズ  
**iSCSI 設定ガイド**

HA8000-bd/BD10X1

初 版 2011年2月  
無断転載を禁止します。

---

---

---

 株式会社 日立製作所  
エンタープライズサーバ事業部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

---

<http://www.hitachi.co.jp>



このマニュアルは再生紙を使用しています。

HB101052S0-1